

資料 7

第 3 回（8 月 24 日）資料 4

少額短期保険協会説明資料

■ 多彩な少額短期保険 ■

2012年7月現在、少額短期保険業者は70社。契約件数の増加と共に、多彩な保険商品が続々誕生しています。

少額短期保険 契約件数の推移



種目別業者数の内訳

家財・賠償
31社

生命・医療
31社

ペット
6社

費用・その他
10社

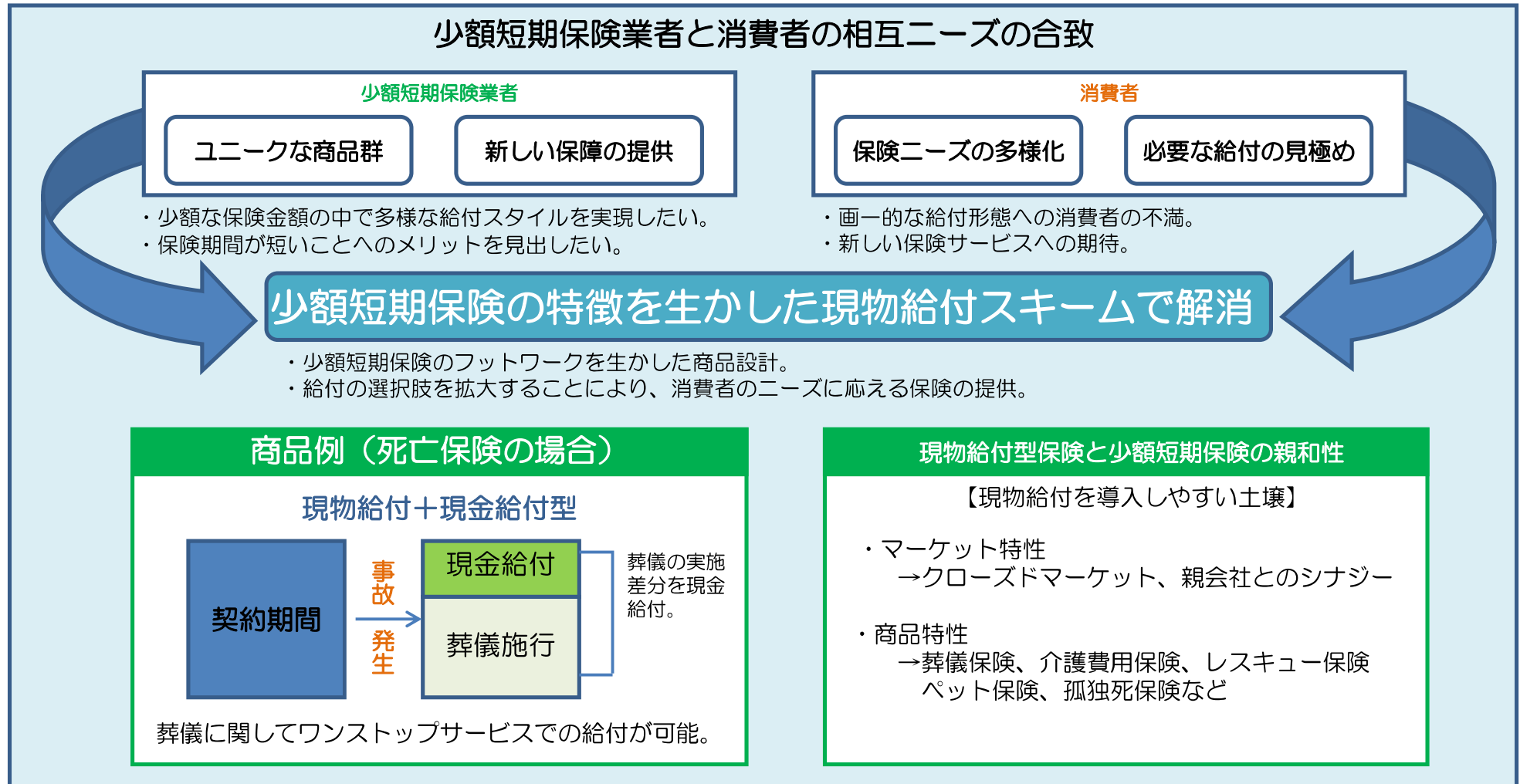
※複数種目を取り扱っている業者があるため総合計と一致しません。

ユニークな商品群の一例

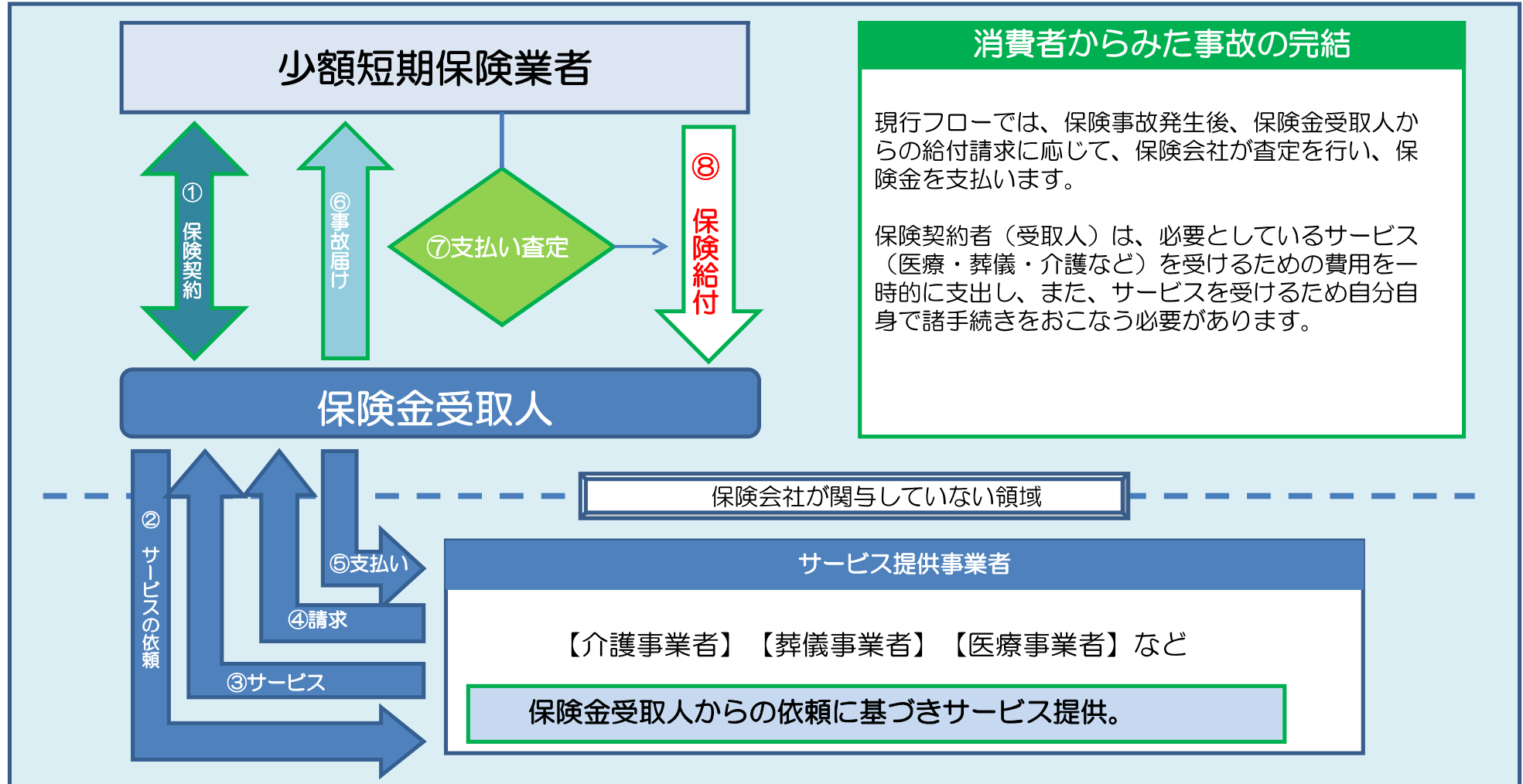
- ・ 介護費用補償保険
- ・ 葬儀保険
- ・ 孤独死に伴う清掃費用保険
- ・ 自転車事故補償保険
- ・ 知的障がい者向け保険
- ・ コンサートチケット費用保険
- ・ お天気保険
- ・ 山岳登山レスキュー費用保険
- ・ 糖尿病患者向け医療保険
- ・ ペット保険

*上記は正式な商品名ではなく一般的な呼称

■ 現物給付が求められる背景 ■



■ 現行商品の事務フロー ■

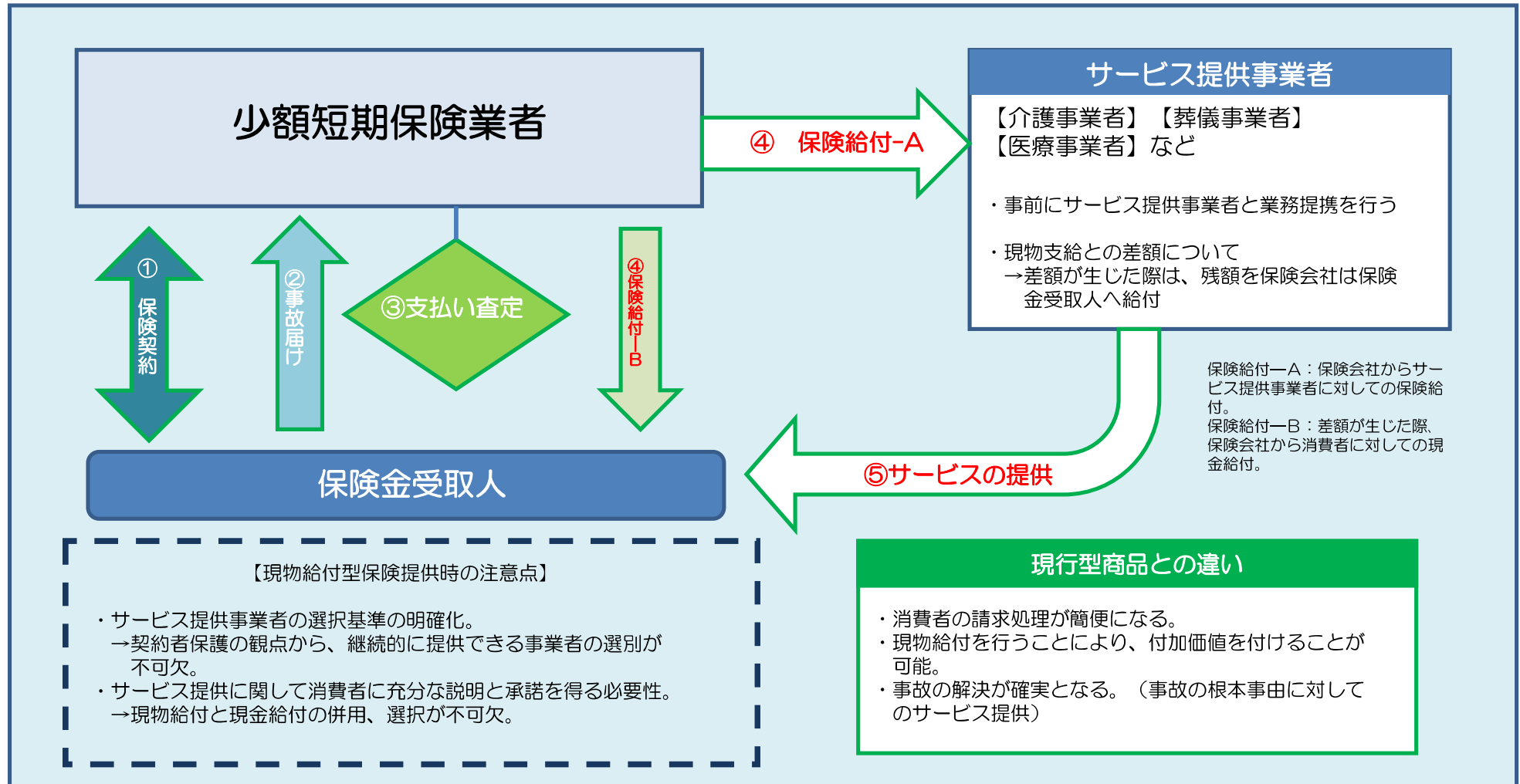


消費者からみた事故の完結

現行フローでは、保険事故発生後、保険金受取人からの給付請求に応じて、保険会社が査定を行い、保険金を支払います。

保険契約者（受取人）は、必要としているサービス（医療・葬儀・介護など）を受けるための費用を一時的に支出し、また、サービスを受けるため自分自身で諸手続きをおこなう必要があります。

■ 現物給付型保険の事務フロー ■



■現物給付のメリット・デメリット■

